

図書館だより



コミックの勧め

フードビジネス学科長
山本 和子 教授

図書館だよりにコミックとはけしからんと青筋をお立てになる方は、かの有名な「バカの壁」がそこに立ち塞がっていることを認識されないとせっかくの情報社会の恩恵に背を向けることにもなります。

私はコミック世代の第一世代でしょう。

小1の時、虫垂炎で1ヶ月近く入院し、病室ではテレビもなく退屈で(街頭テレビ!時代です)、そのときの唯一の楽しみはハードカバーの少女漫画でした。信じられないかもしれませんが、当時そんなものが貸し本屋にどっさり並んでいたのです。記憶の限りでは内容は継母ものかバレエものでした。それがコミックへの第一歩でした。次いで小5のときでしょうか、子供の世界に週刊誌が入ってきたのは、少年サンデーとマガジンが創刊されたのです。ついで少女フレンドやマーガレットが、姉妹5人で毎週この4冊を争って読んでいた日々がありました。親はもちろん白い目で見えていましたが、親自身アメリカの漫画(ブロンディとか)に感心していたこともあり禁止はされませんでした。

最近の学生は本を読まないどころかテレビも見ないし、コミックにも金を投じずネットの情報を確かなものだと思える傾向にあります。ネットの情報ほど玉石混交の世界で危ないものはないことは知ってほしいものです。コミックは作者の顔が分かり、出版社の目を通してきているだけ責任の所在が見えます。

コミックなどがあるから活字を読まなくなるというのは正しくありません。以前に図書館便りに私は活字中毒だと書きました。でもコミックは左脳も右脳も使う読み物として読書に疲れたときのリフレッシュ剤になります。逆にコミックでウォームアップして専門書に取り掛かることもあります。ただし催眠剤にならないのが難点ですが。

活字媒体でもコミックでも若い人にはまず、いいものを選んで読んでほしいと思います。でも数ある中から何を良書とするかといっても、初心者には手引きがいります。そのために識者の選ぶ「何とかの100冊」とかが参考になります。でもコミックの歴史が半世紀に及ぶというのにまだそんなものにお目にかかっていません。NHKの漫画夜話は参考にはなりませんが、初心者向けではないでしょう。

そこで、ここでは独断と偏見であることを承知の上で、私のお勧めコミック10選(手にいれ易い割と新しいもの)を紹介してみることになります。これは難題でありました。なお老婆心ながら、以下のコミックで意味不明な言葉等は読み飛ばし、ついでの方に図書館で調べることが肝要であることを注意しておきます。読みながら調べるのはコミックの正しい読み方ではありません。

家裁の人

家庭裁判所の少年審判に興味のある人に(裁の誤字ではありません、読めばその意味は分かります。これは図書館にあります。)

サトラレ

自分の思いを隠せない人に 怖いこと

クッキングパパ

育児と仕事を両立させられない男たちに

美味しんぼ

うまいもの大好き人間に 活字好きでないと苦しい(雁屋さん、味噌煮込みみきしめんとはなんじゃいな、リサーチが足りないな)

ナニワ金融道

借金するなら金貸しの論理を知ろう 連帯保証の恐ろしさ(本書は司法試験目指す人の法律入門書です。ここから法律の世界へ入る人がかなりいます)

テレビシコーラ

バレエ大好きな人に たとえ自分は踊らなくても(意味が分からない人は図書館へ行こう! そのために図書館があります)

のだめカンタービレ

クラシック音楽愛好家に もしもピアノが弾けたなら(音楽と料理が人生のスパイスなんてではなく人生そのもの)

西洋骨董洋菓子店

こだわりのカフェのために テレビよりカッコいい

ダーリンは外国人

異文化コミュニケーションはここから始まる!

キッパリ!

意志薄弱な人の必携書(朝1限目に遅刻する人は必読実行のこと なお本屋さんには同じ作者の別名の新作が並んでいるからそれと間違えないこと)

目次

コミックの勧め	1
学ぶ人	2
本の紹介	3
図書情報センターから	4

✧ 学ぶ人 - 第1回 - ✧

このコーナーでは、何かに挑もうと頑張っている学内の方々を紹介します。今回は、愛・地球博へ参加するなど大学を飛び出して科学の啓蒙に励むサークル「NBSC」にお話をうかがいました。

NBSC(名古屋文理サイエンスサークル)

始めまして、今回新しいサークルとして名古屋文理サイエンスサークル(略NBSC)を紹介します。このサークルは、まず情報文化学部、健康生活学部のどの生徒でも参加可能です。活動内容としては、管理栄養士に必要な生命科学、基礎科学の研究、情報メディア技術者をめざす情報科学の研究などなど、サイエンス(科学)と関係のある楽しいことをするサークルです。

また校内だけの活動で我慢できないこのサークルは今年開催する愛知万博にも参加し、活動します。また夏頃には、稲沢市で開催するこどもフェスティバルで子供達と科学についていろいろやる予定です。もしこの文章で少しでも興味が湧いた人はNBSCに入ってみませんか? 皆さんが入って来るのを楽しみにまっています。



代表にメールするか、第1小教室で活動しているのでよかったです
ぜひ×2
見に来てください。



代表(連絡先): 山下 珠里 (1102049@nagoya-bunri.ac.jp)

顧問教員: 彭 徳子(健康生活学部教員)

paeng@nagoya-bunri.ac.jp

長谷川 聡(情報文化学部教員)

hasegawa@nagoya-bunri.ac.jp



万博展示準備風景

・クロマキー合成撮影
・裸眼立体視映像展示
展示デモ(4月7日入学式)



★本の紹介★

『センス・オブ・プログラミング!』



前橋 和弥 著
技術評論社 2004年



紹介者:情報文化学科 1101007 梅田 雄也

この本は小さなプログラムは作れるけど大きくてきれいなプログラムはまだ書けないという人のためのプログラミングの解説書です。

第1章「プログラムの基礎」では変数、ループ、条件分岐、関数などプログラムで必ず出てくる基本的概念について復習しています。簡単に言えば、プログラムとは、これらを使ってコンピュータにやってもらいたいことを指示するための「手順書」のようなものです。

第2章「プログラムが動作する仕組み」では、プログラムをよりハードウェアに近いレベルで説明します。

プログラムが動作するとき、コンピュータの心臓部とも言えるCPUが、0と1(電気信号のオフ、オンに相当)の羅列からできている機械語のプログラムを、解釈・実行しています。コンピュータが発明された当時、ただの数値の羅列ではあまりにも人間にとって分かりにくいので、それぞれの機械語に対して1対1でニーモニックという名前を付け、それを組み合わせてプログラムを書きました。そしてプログラムを実行するときには、アセンブラと呼ばれるプログラムを使ってニーモニック(アセンブラ言語)で書いたプログラムを自動的に機械語のプログラムに直してから実行していました。

それでも実際にアセンブラ言語でプログラムを作るのはかなり大変で、もっと人間にとって分かりやすいプログラミング言語でプログラムできるようにと考え出されたのが、コンパイラと呼ばれるプログラムです。コンパイラは、あるプログラミング言語で書かれたプログラム(ソースプログラム)を、機械語のプログラム(オブジェクトプログラム)に変換します。そしてオブジェクトプログラムは機械語なので、CPUはそのまま実行するという訳です。

第3章「きれいなプログラムを書くために」では、他の人がすらすらと読めるプログラムを書くべきだと言っています。プログラムの大きな流れを設計するときにはフローチャートは使わない方がいいとか、goto文を使うことでかえってきれいなプログラムになる場合もあるなどといったことが書かれています。

第4章「データ構造 - 基礎編」では、目的とするデータの処理のためにどのような型のデータをどのように配置するか(これをデータ構造と言います)について、主なデータの配置方法をあげて解説しています。ただし、データ構造を深く理解するとなると、(特にC言語の場合)第2章のようなハードウェアに関連したレベルの概念を扱わなくてはならないことがあり、ハードルの高い話と思えてきます。第4章だけはプログラミングにある程度慣れてからでないと理解しにくい部分と言えるでしょう。

最後に第5章「モジュール分割」、第6章「データ構造 - 応用編」では、簡単なワープロプログラムを作りながらデータ構造の実際の設計について説明しています。



原稿
募集

書籍・人物紹介

『図書館だより』では、読者の皆様からの原稿を随時募集しています。1ページ全体に掲載をご希望の方は1000~1300字、半ページに掲載をご希望の方は400~500字が大体の目安となります。内容の前部分に、

名前	所属学科	学生の方は学籍番号	
本の標題	著者名	出版社名	出版年

を明記し、文書を保存されたフロッピーまたは印刷された用紙を、図書館カウンター(内線:362)までお持ちください。採用された方には粗品を差し上げます。たくさんのご応募をお待ちしています。

エッセイなど

原稿
募集

図書情報センターから

OPAC システムのご案内

この4月から図書館の蔵書検索システムが新しく OPAC (Open Public Access Catalog) になりました。OPAC では蔵書検索と予約申し込みが、館内の専用端末だけでなく学内のネットワークを利用できるどのパソコンからでも行えるようになります。さらに蔵書検索では大学と短期大学部どちらの図書館の図書も検索可能です。なお、図書の貸出予約には“ユーザ ID”と“パスワード”が必要です。ユーザ ID とパスワードはどちらも、情報実習室のパソコンを利用する際のものと同じです。利用方法の詳細は、ホームページの利用方法をご確認下さい。

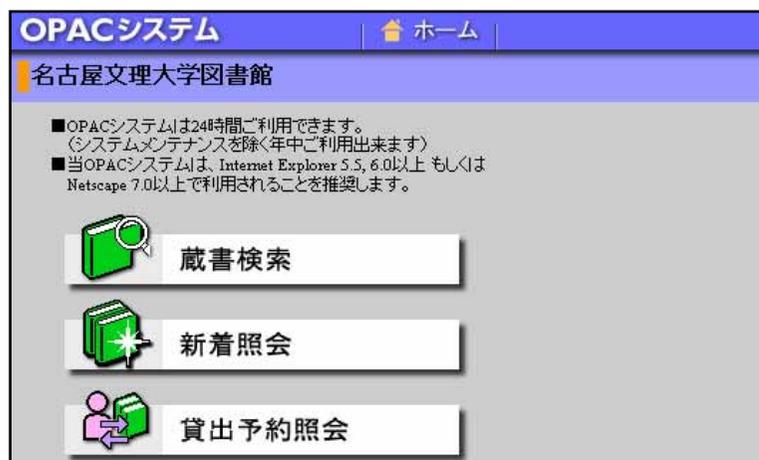
図書館ホームページ



付属図書館
ようこそ図書館ホームページへ!

- ❖ [開館日\(カレンダー\)](#)
- ❖ [館内の施設について](#)
- ❖ [館内の利用について](#)
- ❖ [お知らせ](#)
- ❖ [連絡先所在地](#)
- ❖ [図書だより](#)
- ❖ [情報機器貸し出しについて](#)
- ❖ [学生用メールマガジンの使用規定\(学内専用\)](#)
- ❖ [蔵書検索\(学内専用\)](#)

OPAC システムのメニュー画面



OPACシステム | ホーム

名古屋文理大学図書館

- OPACシステムは24時間ご利用できます。(システムメンテナンスを除く年中ご利用出来ます)
- 当OPACシステムは、Internet Explorer 5.5, 6.0以上 もしくは Netscape 7.0以上で利用されることを推奨します。

蔵書検索

新着照会

貸出予約照会

こちらのリンクから
OPAC を利用できます



平成17年4月
編集：名古屋文理大学図書情報委員会
発行：名古屋文理大学図書情報センター
〒492-8520 稲沢市稲沢町前田 365
TEL：0587(23)2400 FAX：0587(21)2844
e-mail：toshokan@nagoya-bunri.ac.jp

